



リモートダム見学 **RemoT Dam** オンライン(Tour)によるリモートダム見学もっています。 お問い合わせ先 TEL 0228-56-2233 khdawpref.miyagi.lg.jp

ダム学習のすすめ

～ダムの役割学習を通じて「防災・減災」を学ぶ～

其の1：出前講座

出前講座は、ダム職員が小学校に伺って、ダムの種類や洪水調節の仕組み等を解説します。教科書の「水はどこから」に沿って、水の使われ方や大切さをクイズを用いて説明します。また、昨今頻繁に発生している豪雨災害におけるダムの役割や、災害発生時のダムでの対応や避難の必要性についても学習します。説明後、ダム模型（職員手作り）に水を入れて、座学の復習を行います。何名かの児童の方に模型の堤体を外してもらい洪水の怖さを体験していただきます。（出前講座のカリキュラムの中では1番人気です。）

令和2年度出前講座実績

R2年 6月	志波姫小学校4年生	74名
R2年 7月	鶯沢小学校4年生	14名
R2年 9月	栗駒小学校4年生	31名
R2年10月	宮野小学校4年生	15名
R2年11月	花山小学校5・6年生	9名
	計	143名



【ダムの役割説明】



宮城県栗原地方ダム総合事務所

〒987-2511 宮城県栗原市花山字本沢向原11

電話:0228-56-2233



宮城県 栗原地方ダム総合事務所 Miyagi Prefectural Government

ダムがあれば洪水はおきないの？

ダムにためられる水の量はきまっています。ダムがいっぱいになると、ダムに入ってきた水と同じ量を、下流の川に流すことになります。これを「異常洪水時防災操作」といいます。ダムのなかったころの川と同じになるので、洪水がおきやすい危険な状態になってしまいます。

ダムからは、サイレンやスピーカーでお知らせいたします。また、栗原市から防災無線などでもお知らせしますので、川から離れて避難してください。

普段から、家族のみなさんと避難方法や避難場所を確認しておいてください。

宮城県 栗原地方ダム総合事務所 Miyagi Prefectural Government

警報局からのサイレン吹鳴と放送

ダムの放流によって、下流の川の水位が急が増えるときは、サイレンを鳴らして放送を行います。サイレンが鳴ったときは、すぐに川から離れてください。

サイレン → 休止 → サイレン → 休止
(30秒) (3秒) (5秒) (5秒)

これを3回くりかえします



【ダム模型による実験】

其の2：ダム見学

ダムのことを知り始めると、「ダムに行きたい!!」という気持ちが芽生えてきます。ダムの外観は、時間のある時に自由に見学はできますが、内部は職員引率のもとでしか見学はできません。ダムを操作する巨大な機械の見学や、何百段もある階段を降りて監査廊（ダム堤体内部）を体験しましょう。ダムの役割講座と同時に行うと、なお一層の理解が深められます。

令和2年度ダム見学実績

R2年11月	志波姫小学校4年生	74名
R2年11月	花山小学校5・6年生	9名
	計	83名



【監査廊見学】



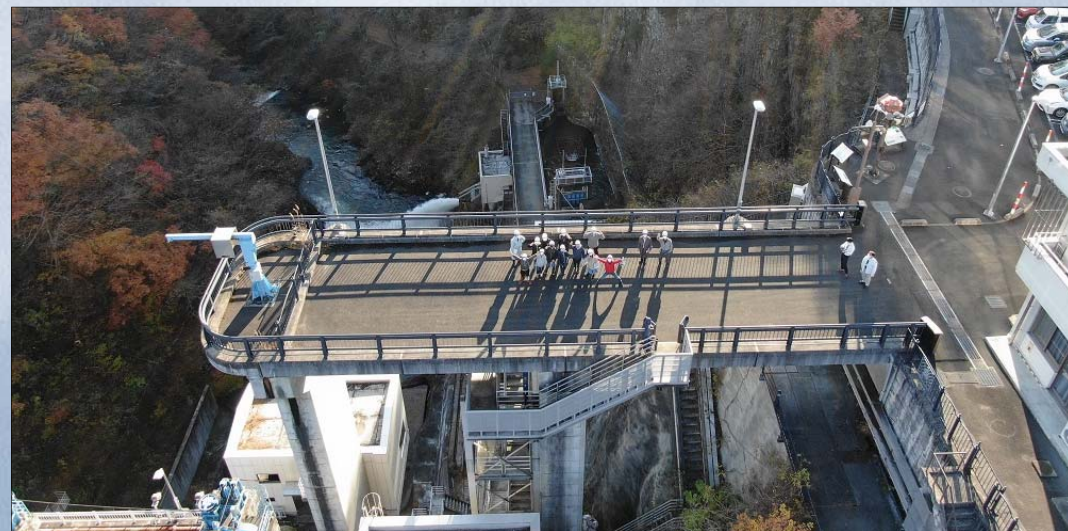
【ゲート巻上げ機見学】



【洪水吐ゲート見学】



【ダム堤体・湖面見学】



【ドローンでの記念撮影】

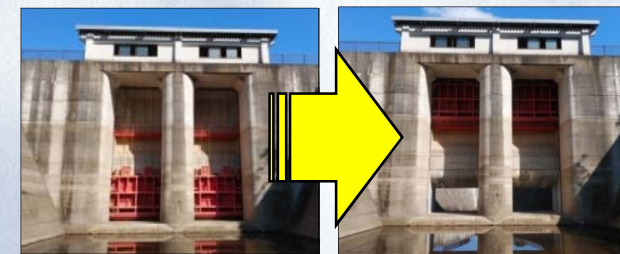


其の3：リモートダム見学

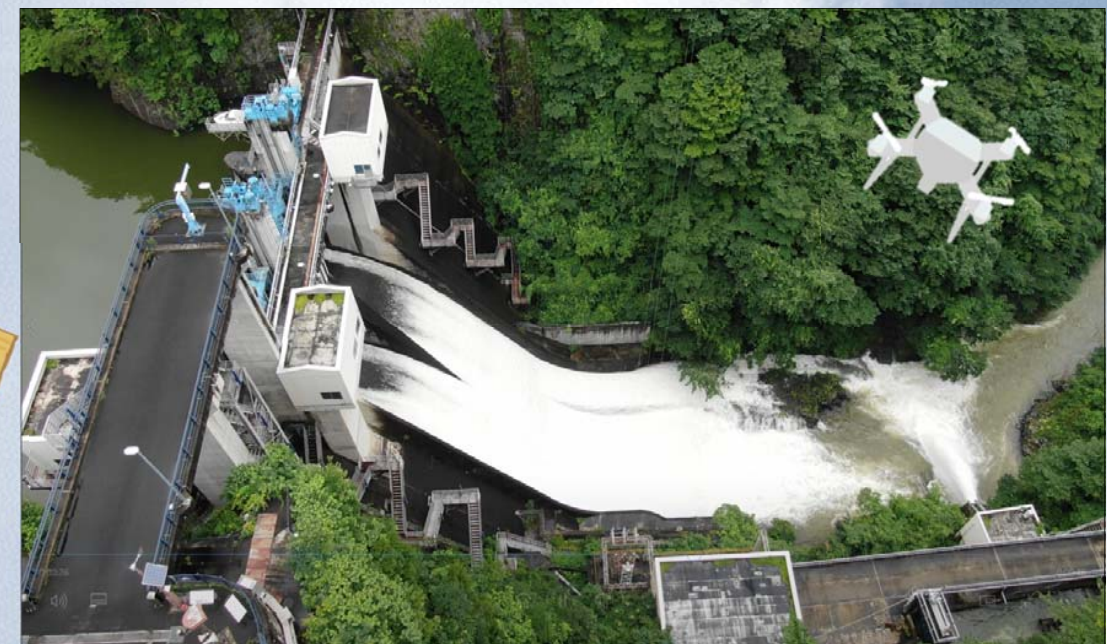
新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度はダム見学の中止期間がありました。中止期間に「ダムを見学したい」との児童たちの声に、Zoomを活用した「リモートダム見学」を企画し、6月30日に志波姫小学校4年生を対象に、宮城県内で初めて実施しました。当日は、荒砥沢ダムが洪水期に向け「洪水吐ゲート（3.4×4.0m）」を全開とする操作を、リモートで操作手順の説明を受けながら見学していただきました。映像でのダム見学ですが、児童たちはダムにますます興味を持ったようで、質問が絶えませんでした。なお、当事務所では、小学校のご都合（ダムまで行く都合が付かない等）にあわせて、リモートダム見学を対応いたします。また、ドローンによる上空からのダム湖面や放流状況の映像（事前録画映像）は大変人気があり令和3年度からは、**同時生配信**も可能となり、迫力あるダムの映像を体験できます。

令和2年度リモートダム見学実績

R2年 6月	志波姫小学校4年生	荒砥沢ダム	74名
R2年 9月	栗駒小学校4年生	栗駒ダム	31名
R2年10月	宮野小学校4年生	花山ダム	15名
	計		125名



【荒砥沢ダムゲート操作状況】



【ドローンによる同時生配信】